

(仮訳)

## 暗号資産に関するステートメント

近年、暗号資産 (crypto-assets) の規模の拡大が見られた。暗号資産市場はグローバル金融システムに比べると未だ小さく、銀行の直接的なエクスポージャーは今のところ非常に限定的であるが、バーゼル銀行監督委員会 (以下「バーゼル委」) は、暗号資産の取引プラットフォームや暗号資産に関連した新しい金融商品の継続的な規模の拡大が、金融安定性に対する懸念を生じさせるリスクや、銀行が直面するリスクを高める可能性があると考えている。

暗号資産は「暗号通貨」(crypto-currencies) と呼ばれることもあるが、バーゼル委は、暗号資産が通貨としての標準的な機能を確実に提供してはならず、交換手段や価値の保蔵手段として頼ることは安全ではないと考えている。暗号資産は法定通貨ではなく、政府や公的機関による裏付けはない<sup>1</sup>。本ニュースレターは、暗号資産エクスポージャーや関連サービスを禁じていない法域のため、銀行の健全性維持の観点から、銀行の暗号資産や関連サービスに係るエクスポージャーの取扱いについてのバーゼル委としての期待を示すものである。

暗号資産は高いボラティリティを有しており、また、標準化されておらず継続した進化も見られない、未成熟の資産クラスであると考えられている。暗号資産は銀行に対し、流動性リスク、信用リスク、マーケット・リスク、オペレーショナル・リスク (不正・サイバーリスク含む)、マネーロンダリング・テロ資金供与リスク、リーガル・風評リスクを含む多くのリスクをもたらす。従って、バーゼル委は、銀行が、暗号資産エクスポージャーを取得することや暗号資産関連サービスを提供することを認められ、かつそれを実行することを決定する場合、少なくとも以下の対応を行うことを期待する。

### ● デュー・ディリジェンス

銀行は、暗号資産エクスポージャーを取得し、または暗号資産関連サービスを提供する前に、上述のリスクに対する包括的な分析を行うべきである。銀行は、暗号資産から生じるリスクを自ら適切に評価するために必要不可欠な技術的専門性を有することを確保すべきである。

---

<sup>1</sup> 暗号資産は、中央銀行が発行するデジタル通貨とは異なる。決済・市場インフラ委員会及び市場委員会によるレポートを参照 ([www.bis.org/cpmi/publ/d174.htm](http://www.bis.org/cpmi/publ/d174.htm))。

- ガバナンスとリスク管理

銀行は、暗号資産エクスポージャー及び暗号資産関連サービスのリスクに適した、明確で頑健なリスク管理の枠組みを持つべきである。多くの暗号資産が匿名で規制当局による監視が限定的であることから、銀行の暗号資産に対するリスク管理の枠組みは、マネーロンダリング・テロ資金供与や制裁回避対策に関するもののほか、不正行為に対する強化されたモニタリングを含み、全体的なリスク管理プロセスに完全に統合されているべきである。暗号資産のエクスポージャーやサービスに関するリスクに鑑み、銀行は暗号資産の高いリスクを反映したリスク管理プロセスを導入することが期待される。関連するシニア経営層は、リスク評価枠組みの監視に関わることが期待される。取締役会及びシニア経営層は、自行の暗号資産特性に関するリスクについて適時に関連した情報を提供されるべきである。暗号資産に係る直接的・間接的なエクスポージャー及びその他のサービスに関する上記のリスク評価は、銀行内部の自己資本及び流動性の充実度評価プロセスに組み込まれるべきである。

- 開示

銀行は、全ての重要な暗号資産エクスポージャーまたは暗号資産関連サービスについて、定期的な財務開示の一部として公に開示するとともに、当該エクスポージャーについて各国の法令に即した会計上の取扱いを明示すべきである。

- 監督当局との対話

銀行は、暗号資産エクスポージャーの保有または暗号資産に関する活動についての実績及び計画を監督当局に対して適時に報告し、当該エクスポージャー及びサービスに関連する活動及びリスクが許容可能なものであることを十分に評価し、それらのリスクをどのように軽減したかを示すべきである。

バーゼル委では、銀行の暗号資産に対する直接的・間接的なエクスポージャーを含む暗号資産についての進展を引き続きモニタリングしていく。バーゼル委は、暗号資産の高いリスクを適切に反映した、銀行の暗号資産エクスポージャーに係る健全性規制上の取扱いを、適切なタイミングで明確化する予定である。バーゼル委は、他の国際基準設定主体及び金融安定理事会（FSB）と協調しながら作業を行っている。